

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	し尿収集事業			540337	担当課	生活交通課			
	開始年度	昭和0(1925)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	横山 晋		
	歳出費目	款)衛生費	項)清掃費	目)し尿処理費			決算附属資料	164	頁	
	施策の大綱	上下水道の整備			関連計画等	-				
	施策名	下水道等を適切に維持管理する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	○「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び、本市の一般廃棄物処理計画に基づき処理する。								
	対象者	市民(未水洗、工事・イベント等仮設)		対象者数	-		一人当たりコスト	-		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 市内し尿収集運搬業者、上下水道部								
	事業概要	○し尿収集運搬業務を委託及び業者利用者間の連絡調整。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項 目		具 体 的 な 内 容				H29経費		
		賃金		臨時職員賃金				1,287		
需用費		消耗品費、印刷製本費(日程表・くみ取り券他)				259				
役務費、使用料及び賃借料		電話料、郵送料、くみ取り券売りさばき手数料、複写機使用料				725				
委託料(し尿収集運搬業務他1件)		し尿収集委託料、予備車保管業務委託料				97,416				
関連事業	なし									
予算と執行の 状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		112,332	115,708	114,252				
		補正予算等・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		81,292	87,810	88,046				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		31,040	27,898	26,206				
		特定財源名称 (H29実績)	し尿汲み取り手数料			27,898	手数料	14	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.53/0	0.49/0	0.49/0				
概算人件費・・・④		4,240	3,920	3,920						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			116,572	119,628	118,172					
執行状況	執行額・・・⑥		111,269	112,928						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.1%	97.6%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標			
					/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標			
		し尿収集量		kL	2347	2250				
		単位あたりコスト			47.4	50.2				
							/			
単位あたりコスト										

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	○ 下水道等に接続していない便所がある限り、し尿収集運搬は必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	○ 下水道、農業集落排水、合併浄化槽等の整備事業が終了しても、下水道等に接続されていない便所があるため引き続いて事業を継続する。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○ し尿収集量は減少しているが、下水道等に未接続の便所がある現状では、衛生的な環境を維持するために欠くことはできない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	今後も災害時を含め、安定して衛生的な環境を維持するためにし尿収集運搬業務を継続する。	
	今後の課題及び方向性	法及び処理計画に基づき継続する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見 ・料金の見直し、下水道整備費用の算出必要 ・福知山市の財政を考えれば、まずは汲み取り券の値上げは考えざるを得ない。 ・100%を目指すよう、上下水道部と対象住民の方と話し合う場を持つべき。 ・これまでの経過は色々あると思うが、水洗化の推進、赤字の縮小など関係部署含めて検討することを考えてもらいたい		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充				